

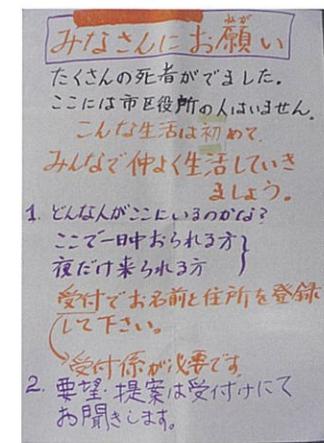
New  
新着資料  
紹介

## 兵庫県立神戸高校避難所関連資料

阪神・淡路大震災直後から避難所となった兵庫県立神戸高等学校。寄贈者は、自らも被災しながら、避難所になった神戸高校でボランティアとして活動しました。寄贈いただいた資料からは、当時の避難者数の推移や避難所を円滑に運営するための工夫などが読み取れます。



神戸高校体育館の様子  
(1995年1月29日撮影)  
資料番号: 564-001039.001.0095



このポスターは避難所開設直後に作成されたもの。これを見て、避難していた寄贈者は避難所運営を手伝うことに決めたそうです。

資料番号: 564-001001

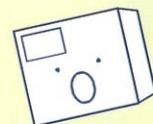
ピーク時、700~800人が避難していた神戸高校では、マニュアルなどもないなかで生活環境を改善していました。

## 令和5年度 資料室企画展 「アナログメディアで記録された最後の大震災！？」

開催期間 2023年11月28日～2024年5月26日

展示場所 人と防災未来センター資料室（西館5階）

メモ帳からSNSまで、身の周りの出来事を記録する手段はたくさんあります。今は、すべてをデジタルデータで扱うことができ、スマートフォンひとつであらゆることが済んでしまいますが、元々は、目的ごとに違った記録媒体がありました。1995年はちょうどデジタル社会に切り替わる時代の変わり目にあたります。その頃起こった阪神・淡路大震災は、アナログメディアで記録された最後の大震災とも言えます。本企画展では、震災当時に一般的だったいろいろな記録手段を収蔵資料からひもときます。



### 震災資料をお持ちの方に

人と防災未来センターでは、現在も震災資料の収集を続けています。「こんなものでいいんかな？」と、おっしゃる方も多いにはいらっしゃいます。寄贈できるか分からないとお考えの方や、震災後、すぐには手放せなかったものの、震災の出来事を伝えるために活用したいとお考えの方など、悩んだ際には、ぜひ一度、資料室までご相談ください。

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構  
**DRI 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター資料室**

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター西館5階  
TEL 078-262-5058 FAX 078-262-5062

URL <https://www.dri.ne.jp/>

開室時間 9:30～17:30

閉室日 毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日の場合は翌平日)

12月29日から1月3日



阪神・淡路大震災記念  
人と防災未来センター

The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial  
Disaster Reduction and Human Renovation Institution



Vol.82

2023年  
12月発行

# 資料室ニュース

## 収蔵ビデオのオンライン公開をすすめています

3階展示室内スポット展示として開催中の「震災資料のメッセージ2023(前期)：ビデオがつなぐ、被災の記録」(～2024年1月28日)にあわせ、これまでにデジタル化した収蔵ビデオ(ホームビデオ)を順次Internet Archive(インターネットアーカイブ)に登録し、オンライン公開しています。

### Internet Archive って何？

Internet Archive (<https://archive.org/>) は “Universal Access to All Knowledge (あまねく知識への普遍的アクセス)” の提供を掲げる北米の非営利団体で、世界中のウェブサイトの収集・保存活動とともに、巨大な知のリソースとなるデジタルライブラリーの運営を行っています。収蔵資料IDを用いた一貫性のあるURLが使用できることや、コンテンツと関係のないおすすめや広告が出ないこと、デジタル文化情報資源の長期保存がめざされていることなどの理由から、公開用動画をInternet Archive上に置くことにしました。

The screenshot shows the Internet Archive interface with the DRI-L&A collection highlighted. It displays 24 uploads, including video recordings of the Great Hanshin-Awaji Earthquake from Oct 15, 2023, and other related content like '大地の怒り / The Earth Oct 14, 2023'. The interface includes filters for Media Type (movies), Year (1996, 1995), Topics & Subjects (Hyogo, disaster, earthquake, etc.), and sorting options.

+PLUS  
所蔵資料検索の改善に向けて  
人と防災未来センター情報検索システム(所蔵資料検索)では、一次資料「写真」「モノ、映像音声、文書資料」、二次資料「図書・雑誌」「河田文庫」をそれぞれ検索できますが、一次資料情報に「資料内容」の項目を新規追加しました。これにより、映像音声資料等のコンテンツも検索できるようになり、検索の質を上げるために、少しづつですが内容に関する詳細情報の登録もすすめています。



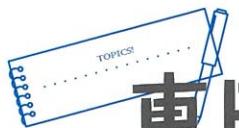
### 震災ビデオ変換ラボ開設中

5階資料室では、VHSや8ミリビデオ、miniDVといった震災記録ビデオ\*の変換機器を無償(利用条件あり・要予約)でご利用いただけます。\*テレビ放送の録画を除く。

詳細は[こちら](https://www.dri.ne.jp/material/about/donation/video-lab/)

<https://www.dri.ne.jp/material/about/donation/video-lab/>





# 東日本大震災伝承施設研修報告

## 研修の目的

資料室は6月27日から29日までの3日間、東北の震災伝承施設を訪問し、施設の運営状況や抱える課題などについて情報交換を行いました。



## 訪問した施設

陸前高田市立博物館

東日本大震災津波伝承館及び

高田松原津波復興祈念公園国営追悼・祈念施設

リアス・アーク美術館

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

南三陸311メモリアル

とみおかアーカイブ・ミュージアム

東日本大震災・原子力災害伝承館

## 東北の震災伝承施設の特徴

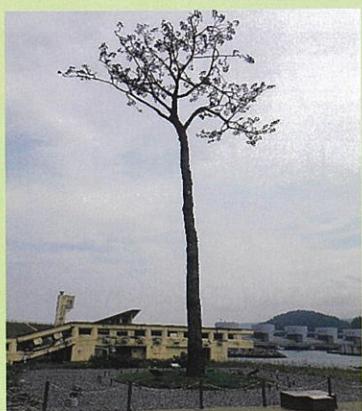
各伝承施設は、地域資料（漁撈用具や民具など）の展示や地形の説明、復興前後の様子など地域の特性に焦点を当て、常設展示を行っています。

また、被災写真や被災物を展示するとともに、語り部や解説員が来館者と直接対話し、施設の設置目的や震災遺構の保存の意義などを伝える取り組みが行われています。



津波により運ばれてきた車  
(気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館)

## 津波を伝承する施設が抱える課題



奇跡の一本松（高田松原津波復興祈念公園）

津波で被災した地域では資料が流されており、すでに展示している物以外の新規収蔵資料がなく、展示替え予定のないところもありました。

現物資料が限られるので、防災教育の効果を高めるために、ラーニングプログラムなどの映像コンテンツを活用している点が印象的でした。

## 震災伝承施設の挑戦

各伝承施設は県や市に管轄されていますが、公的資金だけでは施設の運営を充分に支えることが難しい状況に直面しています。



学芸員との意見交流

この問題に対して、県内外の伝承施設とネットワークを構築し、東北観光の一環として来館者を増やす方法も検討されています。

一方で、周辺に災害伝承施設が集中することや交通が不便であることが来館者数の減少につながるほか、遺構のメンテナンス、若手の語り部の不足など、各施設の課題も明らかになりました。解説の多言語化や震災後に生まれた周辺地域の子どもたちへのアピールも求められています。

## 研修を終えて

東日本大震災の伝承館は防災知識を学ぶ施設であると同時に、災害とともに生きる土地としての歴史と文化を地域住民の記憶に刻む役割も果たしており、地域の歴史と文化を災害と関連づけて提示することが重要であると実感しました。

今回の視察を通じて得た知識と気づきを、今後の資料室の運営や業務に積極的に活かしていくたいと考えています。

## 夏休み防災 未来学校 2023

### なりきり！震災資料専門員 ～震災資料の紹介パネルを作ってみよう！～

8月3日（木）に、震災資料専門員の資料調査・保存・活用の業務を体験してもらう「なりきり！震災資料専門員」を実施しました。

参加した3名は、それぞれ担当した震災資料を調査し、資料紹介パネルの作成に挑戦しました。普段は入れない収蔵庫も見学してもらいました。

